

コロナ禍における地域課題と地域福祉の展開

日 時：令和4年8月6日（土）午後2時～4時30分

実施方法：Zoomによるオンライン開催

内 容：①基調講演 ②グループワーク

◆基調講演◆

講師：認定NPO法人 抱樸理事長 奥田 知志 氏

「孤立のない社会をめざして～コロナ禍における伴走支援の現場から～」(仮)

参加費：1,000円

参加対象：ルーテル学院卒業生

参加申込：下記 URL(Peatix “ピーティックス”)から

<https://peatix.com/event/3264909>



～メッセージ～

コロナ禍において、改めて社会的格差や望まない社会的孤立という課題が浮き彫りとなっています。失業等による貧困、経済的な課題だけでなく生活困窮、児童虐待、ひきこもり、外国籍住民の孤立等の複合的問題が顕在化し、地域福祉を推進してきた福祉関係者や支援者は、今まで以上に地域課題への気づきが深くなっています。

また、対面での集まりが開催出来ないなどの理由により地域活動団体の活動が休止せざるを得ない状況があり、地域福祉の担い手自身もダメージを受けています。

それらの問題は市民を中心として行政や社協、地域団体、NPOなどの地域社会全体で考えなければいけない課題であり、必要に応じてつながり、連帯していける包摂的な共生社会、地域社会のあり方が改めて問われています。

この研修会では、地域福祉やソーシャルワークの創造性を活かしながら、どのように諸課題に取り組んでいったらよいのか、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。多くの皆さんのご参加を期待します。

希望の会幹事会一同